

六甲ヒルケル 試合結果

■ 神戸市民大会

■ 【2回戦】3月31日(日) vs KABENSA @総合運動公園球技場

●0-1 初戦敗退

詳細：[前半] 0-0 [後半] 0-1 [Total] 0-1

シーズン初戦、肌寒く風の強いコンディションの中、リーグ戦で同じブロックとなる相手とのキックオフ。

前半は風上で、左サイドへのサイドチェンジから攻め込みを図る。しかし、攻守のバランスが悪く、何度も攻め込まれる展開が続く。

後半、風下になり、徐々にゲームをコントロールできなくなる。試合中盤、ビルドアップの失敗から中央を割られ失点。その後もゲームを巻き返せず、タイムアップ。

去年からのベースを生かし、今期リーグ戦 12 位中 6 位以内に入り、残留を果たす事に注力する。

(文責：66期 赤羽)

■ 神戸市2部Aリーグ

■ 【第1節】4月7日(日) vs 神戸FC(A) @垂水健康公園球技場

○2-1 [得点者] 赤羽啓, 田中真 (64期)

詳細：[前半] 0-0 [後半] 2-1 [Total] 2-1

桜が満開の心地いい天気で、リーグ戦開幕にふさわしいサッカー日和となった。

対戦相手は、去年のリーグ戦で0-1の敗戦となった相手である。

前半から終始、ゲームを我々が掴む展開となった。背後への抜け出し、両サイドを幅広く使った攻撃を仕掛ける。守備の局面では、何度かDFの背後を突かれるが、GKの御厨(44期)がナイスセーブを見せ、スコアレスで折り返す。

後半はDFの背後のケアのため、システムとポジションに微調整を施す。すると試合中盤、相手ビルドアップの失敗を赤羽啓が見逃さず、ダイレクトでミドルシュートをねじ込み、リードを奪う。しかし、守り切れずに1点を返される。その後も嫌な展開が続くが、中盤左サイドから中央を経由して右サイドに展開し、大月の完璧なクロスを田中真がヘディングで押し込み、再度リードを奪い、残り5分の試合をクローズさせた。

昨年からの積み重ねがうまく嵌った試合であった。

(文責：66期 赤羽)

■ 【第2節】5月6日(月・祝) vs 神戸ファイヤー @岩岡グラウンドB(土)

△1-1 [得点者] 桑本

詳細：[前半] 0-1 [後半] 1-0 [Total] 1-1

GW 最終日、試合時間に雨が降りそうな予報の、薄暗い天気の中キックオフ。

対戦相手は、昨年のリーグ戦で 2-4 の敗戦となった相手である。

前半は風下を選択。苦しい展開になることは織り込み済みであったが、やはり両 SB の背後を狙われ、押し込まれる展開が続く。一方ヒルケルは、高い位置でボールが奪えると、ショートカウンターから度々相手ゴールを脅かす。しかし、相手 CK からヘディングで押し込まれ、リードされて前半を折り返す。

後半、風上に立ち、こちらが相手背後を突く展開が続く。すると、CK から赤羽駿一（66 期）がアウトスイングでボールを入れると桑本が身体を投げ出して押し込み、同点に追いつく。その後雷雨のため中断もあったが、ドローで試合終了となった。

着実に勝ち点を積み重ねていきたい。

（文責：66 期 赤羽）

- 【第 3 節】 5 月 26 日（日） vs KABENSA @岩岡グラウンド A（芝）
●0-1
- 【第 4 節】 6 月 9 日（日） vs 兵庫県庁 A @垂水健康公園
●0-3
- 【第 5 節】 6 月 23 日（日） vs LFCgurus @垂水健康公園
●1-2 [得点者]
- 【第 6 節】 7 月 15 日（月・祝） vs エスペランサ FC @小野浜グラウンド
●0-2
- 【第 7 節】 8 月 25 日（日） vs エベイユ FC @垂水健康公園
○2-1
- 【第 8 節】 9 月 1 日（日） vs ジョルノッテ @神戸高専
○2-1
- 【第 9 節】 9 月 29 日（日） vs JFE 建材 @総合運動公園球技場
○3-1 [得点者] 吉野・林（66 期）・佐々木
詳細：[前半] 2-0 [後半] 1-1 [Total] 3-1

30°C 近い残暑の中、一番暑い時間帯にキックオフ。

キックオフから一人少ない相手に対し、終始攻勢を続ける。前半の早い時間帯に立て続けにゴールを奪い、2-0 で折り返す。

後半は、縦に急ぎすぎた部分を改善し、できるだけボールを走らせ、相手を走らせるサッカーを志向する。混戦から追加点を奪うが、ビルドアップのミスから 1 点を失ったことは反省したい。

（文責：66 期 赤羽）